

【作文小学生低学年の部】

特選 加賀野小学校2年 清野 凜「水といっしょ」

入選 南方小学校3年 佐藤 あまね「あたりまえのことをあたりまえに」

【作文小学生高学年の部】

特選 加賀野小学校4年 林 心美「水について考えたこと」

入選 加賀野小学校6年 大形 紗香「水道を使うことで大切なこと」

水といっしよ

二年二組

せいりん

わたしは、赤ちゃんのころからお水がすき
です。はじめて水にふれたのは、

「ねがえりができるようになり、うつぶせで
あそべるようになった。」

と、お母さんが話していました。ほいくえん
にうつぶせで水あそびができるシャワーのよ
うな水道があり、天気の良い日は、そこにう
つぶせになつて、水に手をのばし、バシバ

シヤとさわってよろこんでいたようです。

すこし大きくなつてからも、バケツに水を
くんで、すな場まではこんであそんだり土で
作った山の上から水をながして、川を作って
あそんだことをおぼえています。いつかはだ
しびつめたい水にふれるのがとても気もちよ
か、たです。

夏は、大きいプールに入つて水にもぐつた
り、およいだりしました。

ごはんのときもかならず水をのみます。毎

日おふうにも入ります。わたしは、赤ちゃん
のころからずとずと水といっしょに大き
くなっってきたんだと思います。①
じゃ口をひねればいつも出てくるきれいな
水のおかげなんだと思います。

川や海には、たくさん水があるけれど、だ
いじにっかがおうと思います。水を出したらか
ならずとめる、出しすぎないようにします。
お水は、のこさないでのみます。毎日たべて
いるごはんやみそしるには、水をつかいます。

水がなくては、生きていけないと思います。
水は、つめたくて気もちがいい。そして、
いろいろな音がする。シャワー、ジャー、ド、
チヨロチヨロといういろいろな音がします。
細くなったり、大きくなったり、わかれて出
たり、しずくになったり、形もかわります。
色は、とうめいだけど、よく見えます。水、
てすごいなあと思います。わたしのからだに
ふれたとき、わたしのからだに入るとき、
とても気もちがいいです。

赤ちゃんのときからいっしょだった水を、
これからもたいせつにし、だいすきでいたい
です。お水さん、いつもありがとう。これが
らもよろしくね。

南方小学校 三年 さとう あまね

「あたりまえのことをあたりまえに
わたしは、あたりまえのことが毎日あたり
まえのようにくらせるのがふつうだと思って
いました。けどある日、水道のことがげい
んであたりまえのことがあたりまえに
ていあわせなんだな」と思いました。あた
しは、あたりまえのように、水ののんだり、
手をあらうたりしてはいますが。せかいには、
そういことができない人もたくさんいます。あ
たしたちが今、水を使って手をあらうたり、

うがいをしたりしているのも一つのしあわせ
です。けど水をむだにしていあげとコップに
水をくむとき水をあふれださせたり、水を人
にかけたりしたら、しあわせがほとんどんへっ
ていさます。しあわせをまもるには、わたし
たち人げんのかもひつようです。しあわせが
せかいじゅうの人たちにとどけば、キッとだ
れもがえがおになります。あたしたちが、い
つも食べているごはん、いつもねているズッ
ト、いつも入るお風呂、これらすべて水道と

同じ小さなしあわせです。ぜんぶわたしたち
の人生にひとつような一ふです。かんたんに、
手に入らないことをいつでもできる。あたり
まえのことがあたりまえにできるしあわせは
人生にとってもひとつようなものです。水道をモ
と大切してみんなをえがおにさせましよう。
水道をもと大切にするには、水道の水をつか
うとき水道さんもうれしくなります。みんな
が、いつもものんでいる水は、水道の水です。
水道がいつもきれいなのは、きつとだれかが
てまをかけて、がんばってつくっていること
にちがいはありません。だれか一人の力で水
がきれいになるわけではありません。みんな
で力をあわせてきれいな水ができます。せか
いの人、みんながねがっているねがいです。
せかいの人とつながるには、わたしたちが今
でできるかきりのことをやる。ことが一ぱんです。
いまでできること、それは、水を大切にすること
とだけです。水を大切にすれば、自分だけじ
ゃなくてせかいとつながれるんですよ。あた

りまえるのことがあたりまへにできる。それは、
人生の半分のしあわせがもしれませんね。

水について考えたこと

四年 林 心美

わたしたちは、毎日たくさん水道水を使
っています。朝起て顔をあらう時、トイレで流
す時、手をあらう時、食器をあらう時、おふ
ろに入る時、考えただけでもたくさん水を
毎日の生活の中で使っていることが分かりま
した。わたしはハムスターを飼っています。が
毎日水をかえています。水をかえてあげると
ハムスターはよろこんでたくさん水を飲ん
でくれます。生き物は、みんな水を必要とし
ています。

父が、

「人間の体はほとんど水だよ。」

と言ったので、気になって調べました。人間
の体の七十パーセントが水だと知りおどろき
ました。水を飲まなくても生きていけるかな
と思っていたのですが、水を飲まないとい血が
ドロドロになってしまい、生きていけなくな
ることも知りました。

家族でキャンプに行つた時に、タンクに水をくんで運びました。短いきよりなのに、水がとても重いので、運ぶのがとても大変でした。しかも、くんできた水は、あつという間になくなり、何度もくみにいかなければなりませんでした。じやロをひねるとすぐに水が出るのは、とても便利だということが分かりました。

今の日本は、じやロをひねると、いつでもたくさんの水が出てとても助かります。しかし、こんな毎日たくさんの人が、たくさん水を使っているのに、なぜ、水はなくならないのでしょうか。

社会の時間に、水をきれいにする仕事について勉強しました。じょう水場というところで、川の水をきれいにして、水道水を作るということを知り、どうやってきたない川の水をのめるようにするのか、知りたくなりました。わたしは、機械を使つてきれいにし、地下パイプを通つて家まで送られて

くるのかなと思いました。

教科書を見たら、ある市で五十年間に、人口が倍いふえて給水量も同じようにどんどんふえているグラフがありました。しかし、西れき二千年の後は、人口がふえているのに給水量がへっぺていることが分かりました。わたしは、水を大切に使い、使いすぎないように心がけている人がふえたのだと思ひ、良かったなと思ひました。

わたしも、水をただにしないように生活したいと思ひました。まず、歯みがきの時は、コップに水をくんだら、すぐに止めるようにしたいです。顔をあらう時は、水を多く出さないようにちよつとだけ出し、すばやく顔をあらうようにしたいです。あめで手をあらうという間は、水を止めてあらい、流す時だけ水を出すようにしたいです。

社会の学習でじょう水場に見学に行くと聞きました。わたしは、水をきれいにする仕組みを知りたいし、だれがどこできれいにして

いるのか、水をきれいにするための工夫も知
りたいです。じょう水場に行って、水道水の
ことを知るのが、今からとても楽しみです。

生かもしれないし水をくみに行くのもとても
生活が不便だからです。そのためにも日本
のほろろ水道をつなげるためのお金に汗田し
たほっ外良いと思えます。

三つ目は、日本の川についてです。日本を
も昔は、外国のまうに不便なた。たからです
泡水をそのまうに売らうして日本の川を
とんとんまうなうた。たと衛門たこと
外あります。たから昔の日本の川のようにな
らないううに。泡は必要な分だけ使たりし

て川をきれいにしたり。清流な川を守
っていきたいです。

この三つのことをもうきえて日本のきれいな
川。清流な川を守りていきたいです。外国の
川についてはい、もしほろろ動をや。ていたら
積極的にほろろしていきたり、ほろろしていきた
いです。自器あういの水とお風呂に使う水を
減らすことはい、たれでもできるとは思わ
ないです。わたしもなるべく減らしたいです。
日本には、水道があたりまうのようにはあ

ていて、わたしたちは、そのありかたみをお
かっぺいないと思ひます。水道管は、水
道のありかたみを知れてよか、たと思ひます
これからも、食器あらいのときやお風呂のと
きに使う水を測つしたり、ほ金活動で積極的
に活動していったり、泡をそのまま流したり
となつていふに、わすれないうに、ふり返り
ながら大切に水道を使つていふたいです。